

学校だより青南

3月号

平成28年3月1日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

準備開始です

校長 関 幸治

3月、平成27年度の締めくくりの月となりました。この一年、子供たちは大きく成長してくれました。2月末に行った、「ありがとう6年生」週間では、卒業していく6年生に、各学年の子供たちが、ドッジボール、綱引き、玉入れなどで挑戦しました。みんな真剣に目を輝かせて6年生と対戦していました。終わったときには「さすが6年生」子供たちの目には憧れとして6年生が映っていたように思います。縦割り班活動のリーダーとして頑張ってくれたことが、下級生に伝わっていたのでしょう。6年生の思いは引き継がれています。

来年度、青南小学校は開校110周年を迎えます。その準備として、周年委員会の体制を整えました。総務を中心として、庶務、式典、記念誌・副読本、環境・資料室、児童会の5つの委員会としました。それぞれの委員会では、やること、やってみたいことなどの意見を出し合い、4月からの本校の教育活動に生かしていこうとしています。

式典委員会…子供たち、ご参会の皆様方の心に残る式典となるよう計画を進めています。

記念誌・副読本委員会…記念誌が子供たちの学習に役立つ内容となるように計画しています。

環境・資料室委員会…今ある資料室の資料のほか、改めて地域や保護者の皆様方に呼びかけて、資料の充実を図ろうとしています。

児童会委員会…周年に向けてのテーマや記念キャラクターを考えています。

児童会委員会は、すでに、全校朝会において、110周年のテーマに使いたい言葉を募集しました。また、キャラクターのデザインも呼びかけました。すでに締め切りも過ぎ、150を超える作品が集まり、それを子供たちの計画委員会・代表委員会でいくつかの候補に絞りました。テーマも、青南小学校への思いがあふれるような物になっています。卒業していく6年生の思いも反映されています。3月5日（土）の「ありがとう6年生」集会の中で発表があるそうなので、今からとても楽しみです。開校110周年の式典は11月26日（土）と決まりました。4月からそれぞれの仕事が順調に進められると思います。御協力いただくことも多々あるとは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2月13日に行われた「青南フェスタ」は大変素晴らしいものでした。フェスタ委員をはじめとして、多くのサポーター、地域の皆様方のお力の賜だったと思います。演奏やダンスも短期間の中での指導大変だったことでしょう。また、新しい試みも加えていただき、参加した子供たちは大満足でした。皆様のパワーを感じた一時でした。

この一年、子供たちは教室での学習のみならず、普段味わえない体験も多く重ねました。保護者、地域の皆様に多くのお力添えをいただき、ありがとうございました。来年度も子供たちがより大きく成長できるよう教育活動を進めて参ります。

《3月行事予定》

- 1日(火) 保護者会(全)
※5時間授業
- 2日(水) B時程 4時間授業
- 3日(木) お話ポケット(3年)
- 4日(金) お弁当給食
(縦割り班活動)
たてわり遊び
お弁当給食
ありがとう SEINAN
(6年)
- 5日(土) 土曜授業
ありがとう 6年生(6年)
- 7日(月) 全校朝会
- 9日(水) B時程
- 10日(木) お話ポケット(1・2・6年)
安全指導
- 14日(月) 全校朝会
- 16日(水) B時程 PTA総会
- 17日(木) お話ポケット(4年)
- 20日(日) 春分の日
- 21日(月) 振替休日
- 22日(火) 放送朝会
- 23日(水) B時程 大掃除 給食終
- 24日(木) B時程 修了式
- 25日(金) 卒業式

《平成28年度》

4月6日(水) 8:10～8:20 登校



3月の生活目標 【一年間を振り返ろう】

生活指導部

学校ではこの一年、子供たちが安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、よりよい環境作りを目指してきました。毎月行われる安全指導や各学年に応じた課題について指導を行ってきました。本年度は、あいさつや登下校の歩行、通学路の点検など様々な課題に取り組みました。そこから見えてきた問題点をその都度、指導し改善していくことができました。まだまだ十分とは言えませんが「いつでも どこでも 青南の子」を忘れず、自分たちで状況を判断し、行動できるように学校では、指導しておりますがご家庭でも日頃のお子様の様子などを確認していただき、振り返っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

草田男展

「降る雪や 明治は遠く なりにけり」

これは、本校の玄関の句碑に刻まれている、中村草田男さんの有名な一句です。卒業生である草田男さんは、この句碑が完成した日に、実際に本校にいらしたそうです。

さて、本校では、毎年2月に草田男展と称し、俳句を作って鑑賞しています。どの俳句にも、今の子供たちにしか見ることのできないもの、感じられないものが詠まれ、その世界に引き込まれます。

音楽室より

音楽室では休み時間にも多くの児童が集まって練習をしています。

特に5、6年生は3月にある卒業式に向けて頑張っています。5年生は卒業式で6年生のために入場曲と退場曲を楽器で演奏します。6年生は、「ありがとう青南」と「ありがとう6年生」で合唱と合奏をします。

全校では、「マイバラード」という曲を「ありがとう6年生」で歌うために練習しています。全校児童の心が一つになって温かい会になることを期待しています。

1年 生活科「青南幼稚園との交流」～1年生体験をしてもらおう～

1学期から継続して、青南幼稚園と交流をしてきました。今回はその集大成として、「1年生体験」をしてもらおうと、張り切って準備をしました。



- ・ランドセルを背負ってもらおう！
- ・育てているチューリップを見てもらおう！
- ・絵の具で絵を描いてもらおう！

など、さまざまなアイデアを出し合いました。

園児がとっても喜んでくれ、1年生もお兄さん・お姉さんとして、頼もしい姿を見せてくれました。

3年 社会「くらしのうつりかわり～芝小郷土資料館見学・七輪体験～」

今、みなさんが使っている道具が「おとうさん、おかあさん」「おじいちゃん、おばあちゃん」のころどのようなものだったか想像したことがありますか。3年生の社会の学習では、道具やくらしがどのようにうつりかわってきたのかについて港区立芝小学校郷土資料館で調べたり、実際に「七輪」という道具を使ったりして昔の人がどのような思いでくらししていたのかについて考えながら学習を進めています。

「七輪体験」では、「火を起こすのが大変そう」「火が近くてこわい」と感じていた児童も、活動が始まるとちわで風を送って汗だくになりながら火おこしをしていました。



火がつくと、「ガスなどで起こした火と違ってじんわりあったかい」などいつもと違った「七輪」で火をおこすことのよさに気付くことができました。今回、体験した児童の中から学習したことをいかして、くらしを豊かにする道具を発明する児童が出てくることを期待しています。

5年 リーダーとして頑張った 縦割り班活動 長縄大会

3学期から、縦割り班のリーダーとしての役割を6年生から引き継いだ5年生。

1月に第1回、2月に第2回と行われた長縄大会では、班ごとに5分間に跳んだ回数を記録しました。5年生はリーダーとして、低学年の子もうまく跳べるようにと一生懸命に縄をまわしたり、跳び方を優しく教えたりしていました。また、第1回が終わった後、記録を伸ばすために班のメンバー全員に声をかけ、休み時間を使って練習も行い、



「みんなすごく上手に跳べるようになった！」と嬉しそうに話をする様子が見られました。練習日の決定、班のメンバー全員への連絡をし、計画的に練習をすすめることを通して、リーダーとしての自分たちの役割に向き合い、声をかけ合って頑張る姿に成長を感じました。

飼育委員会

青南小学校にいるうさぎ4羽（マロン、フワ、クローバー、トト）のために、朝に水替えと餌やり、中休みに掃除をしています。命を預かる仕事ということで責任をもって行いました。また、下級生に呼びかけをしてふれ合いをさせたり、クイズをして興味をもってもらえるようにしたり、工夫して活動しました。



お世話をしていくうちにどの子もうさぎ1匹1匹に愛着をもったようです。また、ウサギたちも子供たちに慣れてきたようで、逃げなくなったりおとなしく抱かれたりと変化がありました。

週1回の当番活動では気付きづらいかもしれませんが、飼育委員会のメンバーでうさぎたちの命をつないだことは確かです。命の大切さを感じることができたよい機会となりました。

アートクラブ

今年のアートクラブは作ることがとても好きな16名のメンバーで活動しました。第一回のクラブ活動ではクラブ長が中心となり、みんなで取り組んでみたいことを話し合いました。紙粘土を使ったキーホルダー作り、和紙の板締め絞り、サンドブラストのコップ作り、キャンドル作りなど、色々なものを作り、かわいらしい作品がたくさんできました。

また、学校の近所にある秋山庄太郎写真芸術館では、実際に機材をお借りして、楽しい写真を撮影するワークショップを体験させていただきました。最後のロングクラブではクラブの時間に作った焼き物のカップを使ってティーパーティーをして、活動を締めくくりました。



伝統文化クラブ

伝統文化クラブでは、日本に古くから伝わる文化に触れ、日本のよさを知ることがをめあてに活動してきました。今年度は、書道・昔遊び・茶道・お琴・華道に取り組みました。お茶とお花は3回ずつ先生をお招きしてご指導いただきました。お茶は、2回目のお稽古から自分たちで点てます。初めは苦勞するものの、だんだん上手になり、美味しく点てられるようになります。お花では、季節に合わせた花材を使い、その意味を理解しながら、小原流の基本的な生け方を学んでいます。お琴では、「さくらさくら」の演奏を校長先生にも聞いていただきました。いずれの活動でも、礼儀作法を学ぶ中で、日本人が大切にしてきた心に触れそのよさを大切にしようとする気持ちの高まりが感じられました。穏やかな時間が流れるクラブです。

